

製品名: ATG5 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21348**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:33kD;Observed MW:55kD

抗原情報

遺伝子名	ATG5
別名	Autophagy protein 5 (APG5-like;Apoptosis-specific protein)
遺伝子 ID	9474.0
SwissProt ID	Q9H1Y0
免疫原	ヒト APG5L/ATG5 の合成ペプチド

背景

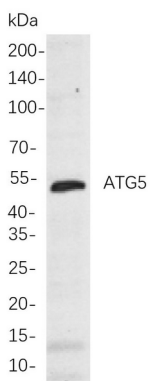
細胞局在: 細胞質。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、オートファジータンパク質 12 と結合して、ユビキチン様結合シ

ステムにおいて E1 様活性化酵素として機能する。コードされるタンパク質は、オートファジー小胞の形成、酸化損傷後のミトコンドリア品質管理、自然抗ウイルス免疫応答の負の調節、リンパ球の発生と増殖、MHC II 抗原提示、脂肪細胞分化、アポトーシスなど、いくつかの細胞プロセスに関与している。この遺伝子には、異なるタンパク質アイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見出されている。[RefSeq 提供、2015 年 9 月]

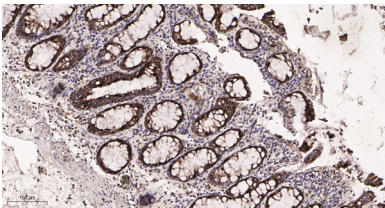
研究分野

-

画像データ



U-87 MG 細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (ATG5 ウサギ mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。



パラフィン包埋ヒト結腸組織の免疫組織化学分析。1、ATG5 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。